

点検評価表（外郭団体）

I 団体の概要

（令和3年4月1日現在）

団体名	天竜浜名湖鉄道株式会社		
所在地	浜松市天竜区二俣町阿蔵114-2	設立年月日	昭和61年8月18日
代表者	代表取締役社長 松井 宜正	県所管課	交通基盤部地域交通課
設立に係る根拠法令等	会社法、鉄道営業法、鉄道事業法		
団体の沿革	-		
運営する施設	鉄道施設（自己所有）		
団体ホームページ	https://www.tenhamaco.jp		

出資者	出資額(千円)	比率(%)
静岡県	39,700	39.7
沿線市町(6市1町)	39,700	39.7
民間事業者	20,600	20.6
基本財産(資本金)計	100,000	100.0

役職員の状況(人)			
常勤役員	3	常勤職員	71
うち県OB	0	うち県OB	0
うち県派遣	2	うち県派遣	0
非常勤役員	8	非常勤職員	0
役員計	11	職員計	71

II 点検評価（団体の必要性）

1 団体の設立目的（定款）

地方鉄道業等を主に営むことを目的とする。

2 団体が果たすべき使命・役割

天竜浜名湖鉄道は、旧国鉄二俣線の線路を引き継いだ第三セクター鉄道であり、通勤・通学・通院など地域住民の日常生活の足として、重要な役割を担っている。
また、鉄道沿線は歴史的な文化遺産や豊かな自然に恵まれており、鉄道はそれらを活用した地域活性化に寄与する取組を期待されている。

3 団体を取り巻く環境

区分	内容
団体を取り巻く社会経済環境の変化や新たな県民ニーズ	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の臨時休校や在宅勤務、外出自粛やイベントの中止などによって、旅客収入が対前年度比でマイナス29.7%と大幅に減少し、令和3年度も引き続きコロナ禍による旅客収入の減が懸念されている。
行政施策と団体活動との関係(役割分担)	地域の公共交通として安全で安定した列車運行を持続するため、老朽化した鉄道設備の改修や想定される大規模地震対策を計画的に推進するとともに、コスト削減の努力を継続しながら鉄道事業収入をはじめ総収入の増加に努め、収支構造の改善と公的負担の軽減を図る。 このため、県、沿線市町は、上下分離の考え方を土台に輸送施設の整備、維持・補修に要する経費(人件費を除く。)を支援する。また、天竜浜名湖鉄道は、輸送施設の整備、維持・補修経費を除いた営業費用について営業収入で賄えるような収支改善を行い、全体の人件費を営業収入の範囲で賄う責任を負い、社員の意欲を高める賃金施策が実施できるようにする。
民間企業や他の団体との関係(役割分担)	公共交通ネットワークを形成する企業として、他の企業と連携して、利用者にとって使いやすいダイヤ編成に努めている。

4 事業概要

(単位:千円)

区分	事業名	事業概要	R2 決算	R3 予算
県補助	地方鉄道事業	天竜浜名湖線(掛川～新所原 67.7Km)の運行	622,622	676,554
合 計			622,622	676,554

5 事業成果指標

指標の名称(単位)	目標(上段)及び実績(下段)				目標値 (年度)
	H30	R1	R2	評価	
年間輸送人員(千人)	1,603	1,563	1,574	C	1,608 (R5)
	1,546	1,513	1,146		
年間旅客収入(千円)	461,950	417,325	422,125	C	437,207 (R5)
	417,142	411,158	288,964		
当期損益(千円)	6,429	0	0	A	0 (R5)
	5,510	4,373	2,623		
()					()

※評価 … A:目標達成 B:目標未達成 C:目標未達成(乖離大)

6 事業成果の総括評価

団体の自己評価		県所管課による評価	
判定	評価	判定	評価
○	<p>当期も有責運転事故がなかったことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により業績が大きく落ち込んだが、安全に支障のない範囲での車両検査、駅修繕等の先送り等による経費削減や、グッズ販売等の好調などにより、当期損益は3期連続で黒字となったことは評価出来る。</p>	○	<p>以下により、良好であったと評価できる。 ①有責運転事故がなかったこと ②新型コロナウイルス感染症拡大の影響により旅客収入が大幅に落ち込む中、アニメとのコラボ等による運輸雑収の増加を図ったこと ③一部施設整備の先送りという苦渋の決断をしているが、最終損益を黒字にできたこと</p>

※判定欄 … ○:良好 △:改善を要する ×:抜本的な改革が必要

7 団体の必要性の評価

団体の自己評価		県所管課による評価	
判定	評価	判定	評価
○	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けているものの、多くの沿線住民や観光目的のお客様に支えられている。</p> <p>旅行雑誌や地元を中心とするテレビなどに取り上げていただく機会には、沿線の食事処や見どころなどを取り上げていただけることも多く、沿線の観光振興、地域振興にも寄与している。</p> <p>更に、沿線企業6社、掛川市、浜松市と連携して、ラッピング列車に取り組んでいるほか、沿線の施設、店舗、鉄道事業者などと連携して、沿線の指定施設で利用できるクーポンの付いた「天浜線&遠鉄電車お得なフリーセット券」を販売するなど、様々なかたちで地域との連携に努めており、団体の必要性は、これまで以上に高まっているところである。</p>	○	<p>天竜浜名湖鉄道は、モータリゼーションの進行などにより採算が悪化し、国鉄再建法に基づき廃止かバスへの転換か、あるいは第三セクター鉄道会社への転換かの選択を迫られた旧国鉄二俣線を存続させるため、県と沿線市町、地元企業の出資により開業した、地域が支える第三セクター鉄道であり、沿線地域の基幹的な公共交通機関として、地域の振興と住民福祉の向上に貢献している。また、日本の原風景ともいえる景観を楽しむことができるほか、全線にわたり文化財登録された鉄道施設は、地域の景観形成に寄与する貴重な財産であり、地域活性化や交流人口の増加に寄与している。</p>

※判定欄 … ○:良好 △:改善を要する ×:抜本的な改革が必要

8 団体改革の進捗状況（過去の行政経営推進委員会からの意見への対応状況）

行政経営推進委員会意見 (経営健全性に係る意見を除く)	対応状況	
	団体記載	県所管課記載
-		
-		
-		

※○:対応済 △:対応中 ×:未対応

Ⅲ 点検評価（経営の健全性）

1 財務状況

（単位：千円）

区分	H30 決算	R1 決算	R2 決算	評価	備考(特別な要因)	
健全性指標	単年度収支 (d-h)	6,687	5,550	3,801	A	
	経常損益 (a+b-e-f)	-223,833	-254,230	-272,605	B	新型コロナウイルス感染症拡大
	公益目的事業会計	-	-	-		
	収益事業等会計	-	-	-		
	法人会計	-	-	-		
剰余金	81,575	85,948	88,571	A		

※評価 … A:プラス B:特別な要因によるマイナス C:マイナス

区分	H30 決算	R1 決算	R2 決算	主な増減理由等	R3 予算	
資産の状況	資産	463,109	601,686	466,353		379,265
	流動資産	404,251	546,680	409,101	補助事業の未収入金の減	324,816
	固定資産	58,858	55,006	57,251		54,449
	負債	281,533	415,737	277,780		275,515
	流動負債	248,582	378,704	233,934	補助事業の未払金の減	233,935
	固定負債	32,951	37,033	43,846		41,580
	正味財産/純資産	181,575	185,948	188,572		103,750
	基本財産/資本金	100,000	100,000	100,000		100,000
	剰余金等	81,575	85,948	88,572		3,750
	運用財産	0	0	0		0
収支の状況	事業収益 (a)	461,153	458,323	336,453	新型コロナウイルス感染症の影響による	369,854
	うち県支出額	0	0	0		0
	(県支出額/事業収益)	(%)	(%)	(%)		(%)
	事業外収益 (b)	425	1,585	13,603		7,500
	うち基本財産運用益	0	0	0.0		0
	特別収益 (c)	992,742	639,180	466,292	受贈財産評価額及び補助金工事の減	476,294
	うち基本金取崩額	0	0	0		0
	収入計 (d=a+b+c)	1,454,320	1,099,088	816,348		853,648
	事業費用 (e)	685,411	714,138	622,622	人件費、車両検査費用等の減	676,553
	うち人件費	395,016	402,052	385,569		
	(人件費/事業費用)	(57.6%)	(56.3%)	(61.9%)		(%)
	事業外費用 (f)	0	0	39		0
	特別損失 (g)	762,222	379,400	189,886	固定資産圧縮対象資産の減	260,741
支出計 (h=e+f+g)	1,447,633	1,093,538	812,547		937,294	
収支差 (d-h)	6,687	5,550	3,801		-83,646	

2 経営改善の取組の実施状況と評価

収入増に向けてマスコミへ積極的な資料提供を行っており、令和2年度は211回、新聞に掲載されている(令和元年度は217回)。
 また、ツイッターやフェイスブックなどのSNSによる情報発信にも積極的に努めている。
 加えて、沿線の草刈りに地元自治会等と連携することで、経費節減に努めている。
 これらの収入増、経費節減の取り組みは評価できる。

3 赤字の要因（前年度の単年度収支、経常損益が赤字の団体のみ記載）

--

4 経営の健全性の総括評価

団体の自己評価		県所管課による評価	
判定	評価	判定	評価
△	<p>コロナ禍の中において、当期損益で黒字を確保することが出来たことは評価できる。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症は、経営の健全性に悪影響を与えており、今後、影響が長期化したり、深刻化する場合にあっては、経営の健全性に大きな影響を与える可能性がある。</p>	△	<p>コロナ禍の中において、当期損益で黒字を確保することが出来たことは評価できる。 しかしながら、安全運行確保のため、今後は施設整備の先送りによる支出削減はできないため、経営の健全性を保つのに困難が予想される。</p>

※判定欄 … ○:良好 △:改善を要する ×:抜本的な改革が必要

5 団体改革の進捗状況（過去の行政経営推進委員会からの意見への対応状況）

行政経営推進委員会意見 (経営健全性に係るもの)	対応状況	
	団体記載	県所管課記載
-		
-		
-		

※○:対応済 △:対応中 ×:未対応

IV 改善に向けた今後の方針

1 点検評価を踏まえた経営の方向性

今後の展望、中期的な経営方針(団体記載)	団体の方針に対する意見等(県所管課記載)
<p>コロナ禍の中、大変厳しい状況にあるが、安全・安定した列車運行に努めるため、計画的な設備投資や社員に対する教育訓練を行うことで、安全の確保に努めていく。</p> <p>また、国や県が進める、アフターコロナの誘客に積極的に取り組んでいく。</p>	<p>コロナ禍の厳しい状況にあるが、経営計画2019～2023に基づき、安全運行を確保するため施設維持や修繕を進めるとともに、利用者の回復(定期・定期外とも)に努めていただきたい。</p>

2 今年度の改善の取組

団体の取組(団体記載)	団体の取組に対する意見等(県所管課記載)
<p>支出の削減については、業務の効率化等により可能な限りの削減に努める。</p> <p>収入の確保に向けては、旅客収入に加えて、「エヴァンゲリオン」、「ゆるキャン△」等との連携継続、強化などにより、グッズ販売の更なる拡大を図るとともに、ネーミングライツなどの新規事業を検討する。</p> <p>また、観光庁の補助金など、新たな補助金の確保を重要課題と位置づけ、地域の自治体あるいは企業等と連携し、その確保を目指す。</p>	<p>業務効率化等により、経費の削減を徹底している。</p> <p>また、旅客収入が落ち込む中、商品開発や観光庁補助金獲得などあらゆる手段で収入確保を図っていただきたい。</p>

V 組織体制及び県の関与

1 役職員数及び県支出額等

(単位:人、千円)

区分	H30	R1	R2	R3	備考(増減理由等)
常勤役員数	3	3	3	3	
うち県OB	0	0	0	0	
うち県派遣	2	2	2	2	
常勤職員数	74	73	72	71	
うち県OB	0	0	0	0	
うち県派遣	0	0	0	0	
県支出額	173,777	222,314	234,647	220,152	
補助金	173,777	222,314	234,647	220,152	
委託金	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
県からの借入金	0	0	0	0	
県が債務保証等を付した債務残高	0	0	0	0	

※役職員数は各年度4月1日時点、県支出額は決算額(当該年度は予算額)、借入金・債務残高は期末残高

2 点検評価(団体記載)

項目	評価	評価理由
定員管理の方針等を策定し、組織体制の効率化に計画的に取り組んでいるか	○	平成30年度に策定した「天竜浜名湖鉄道経営計画(2019~2023)」に人員配置計画を定め、組織体制の効率化に努めている。
常勤の役員に占める県職員を必要最小限にとどめているか	○	危機管理能力を備えた的確な業務執行を確保するため、常勤取締役2名体制としている。
常勤の職員に占める県からの派遣職員を必要最小限にとどめているか	-	該当なし

※ 評価欄 … ○:基準を満たしている △:基準を満たしていないが合理的理由がある ×:基準を満たしていない

3 点検評価(県所管課記載)

項目	評価	評価理由
県からの派遣職員について、必要性、有効性が認められるか	○	危機管理能力を備えた的確な業務執行を確保するため、常勤取締役2名体制は必要、有効と認められる。
県からの補助金等の支出や借入金等について、必要性、有効性が認められるか	△	平成30年度に策定した「天竜浜名湖鉄道経営計画(2019~2023)」に沿い、計画的及び効率的に事業を進めているが、一部、施設整備の先送り等を実施している。

※ 評価欄 … ○:基準を満たしている △:基準を満たしていないが合理的理由がある ×:基準を満たしていない

VI 更なる効果的事業の実施に向けた取組

1 外部意見把握の手法及び意見

区分	実施	結果公表	実施内容	主な意見・評価
外部評価委員会	○	-	新型コロナの影響により、天竜浜名湖線市町会議による外部評価委員会は中止となったが、令和3年1月に個別に全委員に経営状況等の説明を行い、意見を伺った。	・コロナ禍にあつて、よくやっている。 ・外部評価委員会を始めた頃から比べると、本当によくやっていると思う。 ・引き続き、安全対策に努めてほしい。
利用者アンケート	-	-		
利用者等意見交換会	○	-	毎月開催していた天浜線サポーターズクラブ定例会も、コロナの影響による中止や参加者が減ったことで意見聴取に影響があった。また、掛川市や森町の「天浜線を愛する会」総会も、コロナのため中止や書面開催となり、例年のように意見交換を行うことが出来なかった。 なお、いずれも天竜浜名湖鉄道株式会社の主催でないため、公表にあたっては主催者との調整が必要である。	意見を反映して行動した結果、駅周辺がきれいになってよかった、ラッピング列車の運行時刻が分かりやすくなってよかった、踏切を自動車が通過する際の音が小さくなってよかった、早朝の駅放送が静かになったといった意見をいただいた。
その他 (お客様御意見箱)	○	-	各有人駅において、設置している。	増便をしてほしい、この時間に列車を運行してほしいといった要望があり、毎年のダイヤ改正時に反映できないか検討をしている。

○:実施している／公表している -:実施していない／公表していない

2 事業やサービスの見直し例

【利用者意見等活用の具体例】

- ・旧三ヶ日町周辺の駅が汚れているとの意見をいただき、ボランティアと社員で駅舎周辺の除草活動、駅舎の塗装を行った。
- ・各ラッピング列車がいつ来るのか判りづらいとの意見をいただき、ホームページ上の同一ページに全てのラッピング列車の運行時刻を掲載した。
- ・近隣住民の意見を反映し、自動車の踏切通過時の音が小さくなるよう措置をしたり、無人駅放送のスピーカーの方向を調整した。